

Toshokan
Net

としょかんねっと

富里市立図書館 〒(90) 4646
(午前9時30分～午後5時15分)
https://www.library.tomisato.chiba.jp/

図書館カレンダー

開館時間…午前9時30分～午後6時

※金曜日は午後7時まで

□…休館日 ★…映画会

◆…おはなし会 ●…親子おはなし会

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

夏休み特別映画会

日 時	内 容
26日(火) 午後3時	でんじろう先生の日曜実験室ラブラボ！1【73分】
27日(水) 午後3時	でんじろう先生の日曜実験室ラブラボ！2【77分】

※内容はやむを得ず変更することがあります。

NEW 親子おはなし会

図書館ボランティア「もりのなか」による乳幼児対象の「親子おはなし会」を開催します。わらべ歌を中心にしたおはなし会を親子で一緒に楽しみましょう。

■日時 毎月第2水曜日 午前10時～10時30分

平成28年度第1回富里歴史講座の開催

旧岩崎家末廣別邸 ～寄附に至る経緯と整備の流れ～

■日時 7月17日(日) 午前10時～11時30分

■場所 2階A Vホール

■講師 林田利之さん(市生涯学習課文化資源活用室長)

■費用 無料 ■定員 80人

■申込み 7月16日(土)までに電話または相談カウンターで予約

おはなし会

毎週土曜日午後2時から「おはなしのへや」で絵本や昔話を楽しむ会を行っています。(20分程度・4歳くらいから小学生)

こわ～い話や笑っちゃう話などとおきのおもしろい話をたくさんよういしてお待ちしています!

返却期限を守りましょう!

図書・雑誌・視聴覚資料の貸出期間は2週間です。

現在お手元にある資料の返却期限は過ぎていませんか?

図書館の資料は市民の大切な財産です。

■場所 2階A Vホール
■定員 先着80人としょかん
夏のおたのしみ!

図書館では、楽しい行事をたくさん用意して皆さんをお待ちしています!

としょかんだより「本はともだち」

今年も図書館おすすめの本を紹介する、としょかんだより「本はともだち」を発行します。楽しい本をたくさん紹介しますので、夏休みにぜひ読んでみてください。

「本はともだち」は7月上旬に各小・中学校を通じて配布します。

なつのおはなし会

■日時 7月16日(土)

○小さい人の時間(4歳～) 午後2時～2時30分

○大きい人の時間(小学校2年生～) 午後3時～3時35分

■対象 1人でおはなしが聞ける人と、おはなしの好きな大人

■内容 おはなし(昔話の語り)、大型絵本の読み聞かせなど

■場所 2階研修会議室3 ■定員 各回先着30人

■申込み 不要、各回とも10分前までに2階ロビーに集合

としょかんとたんけんたい

図書館の中を探検して、楽しく図書館を知ろう!

■日時 7月27日(水) 午後1時30分～3時 ■対象 小学校1～3年生

■内容 館内見学(書庫など)、おはなし会、本の検索体験など

■定員 10人 ■申込み 電話または5番カウンターで予約

※当日の申込み不可

市立図書館講演会

電話または5番カウンターで申し込んでください。定員に達し次第、申込みを締めきります。

科学あそび教室 パタリンチョウってしってる?
～磁石と反磁性体の実験～

■日時 8月4日(木) 午後2時30分～4時

■場所 2階研修会議室3 ■対象 小・中学生

■講師 坂口美佳子さん(科学読物研究会) ■費用 無料

■定員 30人 ■持ち物 鉛筆、色鉛筆、はさみ、セロテープ、のり

妖怪と出会う夏

～千葉の妖怪・江戸の妖怪～

平安期からの妖怪伝説の移り変わりについて、当時の絵と資料に基づきわかりやすくお話していただきます。

■日時 8月7日(日) 午後1時30分～3時

■場所 2階A Vホール

■講師 内田龍哉さん(県立中央博物館歴史学研究科長)

■費用 無料 ■定員 80人

正しい知識を身につけ、夏を健康に
熱中症に気をつけよう

熱中症は真夏の炎天下だけに起こるとは限りません。気温と湿度が高くなる梅雨時は、閉め切った部屋など高温・多湿の室内でも起こることがあるので注意が必要です。

消防署 ☎(92) 1311

熱中症とは

暑さや熱によって体に異変が起きることを熱中症と言います。熱中症は、その原因や症状、程度によって「日射病」「熱けいれん」「熱疲労」など様々な呼び方をされてきましたが、厳密に区別することが難しく、最近ではひとまとめにして熱中症と呼ぶことが多くなっています。

重症の熱中症は、緊急を要する危険な状態で、毎年多くの人が熱中症で命を落としています。

熱中症の症状

熱中症は自分では気付きにくいいため、周囲の人同士で気を付け合うことも大切です。

軽症のとき

○めまい

○頭痛

○倦怠感

○吐き気

○痛みを伴う足や腹部などのけいれん など

重症のとき

○汗をかかなくなり、皮膚が赤く乾いている

○体温が40度以上ある

○意識障害

○昏睡

○全身のけいれん など

119番が必要なとき

汗をかかなくなり、皮膚が赤く乾いてくると、自分で体温の調節ができなくなり、体温が上昇します。そのような時は命に関わる危険があるため、呼びかけても反応が鈍ければ、すぐに119番通報をしてください。

応急手当の方法

○風通しの良い日陰や冷房の効いている場所に移動する
○風が当たるように衣服を脱がせ、肌を水をかけてから風を当てる

※うちわや扇風機で風を当てることが一番効果的です。
○意識がしっかりしていれば、スポーツドリンクなどを飲ませる

○体温が40度以上あるときは、すぐに氷などで首の回りや脇の下、足の付け根を冷やす
○楽な姿勢をとる
※ショック体位をとると楽になることがあります。

▲熱中症の冷却
▼ショック体位(足側高位)